おわりに

この度はロボット研究部・同好会による展示「ロボットを知る」にお越しいただき誠にありがとうございました。展示物やパネル、プレゼンテーション等々お楽しみいただけたでしょうか。

今年の展示「ロボットを知る」では去年の「ハードウェアから見るロボット」に引き続きロボットを制御するためのプログラムを中心とした説明・展示物になっています。通信方法、プログラミング言語、アルゴリズムなど難しい言葉が多いかもしれませんがこれらは機体ができた後の話でそれまでの機体設計、回路図・基板の製作が基本になります。

ソフト班がプログラムを書けるように、ハード班はそれまでの期間や準備を考えて設計をしなくてはなりません。かといってロボット製作にはハードの分野でもソフトの知識が必要なところが必ずあるので、ハードとソフトで十分話し合いをして作らなければなりません。ロボット製作には綿密な計画、そしてもしものための臨機応変な準備、**潤沢な資金**、チームメンバーの熱意が必要不可欠だと私は思います。

堅苦しいことを申し上げましたが、その分ロボットを作り上げたときの達成感は並みのものではありません！プログラムを書く時もロボットにどのような動作をさせるか考えるのはとても楽しいです。楽あれば苦ありというように困難が伴うのは仕方がないことです。

皆様にもぜひ、一からロボットを作ってロボット製作の楽しさと厳しさを感じてほしいです。

中学部長　城戸